

標十五句

松岡隆子選

ひとごとのやうに日々過ぐ鳥曇
雛納め箱の中より箱の出で
筑波嶺の青きを言ひて耕せり
屋上に車満載山笑ふ
まだ動くものなく沼の温みそむ
先生の声が聞こえる花の句座
朝の日は真水のひかりクロッカス
サインペン試し書きして新社員
翔びさうで飛び立ちさうで雀の子
春暁の夢の余韻の顔洗ふ
飾りたる雛そのまま入院す
鹿尾菜刈るをと言葉を憚らず
生かされて生きて雛の夜を眠る
春雨を淋しき雨と思ふ日も
目瞑れば記憶の海に散るさくら

染谷晴子
佐藤郭子
下平直子
川上昌子
松原ふみ子
廣瀬ハツミ
中嶋孝子
齋藤充
秋元きみ子
室井千鶴子
松井禮子
大津朗
島田おたか
菊池一枝
佐藤良幸